

電友会山岳部

97夏山合宿報告書



期間： 97年8月8日～12日

山域： 北海道・大雪山系
(旭岳-トムラウシ山縦走)

メンバー： 高橋、築瀬、宮島、津田、
福井、塚本

夏山合宿を振り返って

◆行動

- 8月8日(金)● 刈谷—名古屋空港—新千歳空港—旭川—層雲峡(宿泊)
- 8月9日(土)● 層雲峡—黒岳—北鎮岳—間宮岳—旭岳—北海岳—白雲避難小屋(テント泊)
- 8月10日(日)● 白雲避難小屋—忠別岳—五色岳—化雲岳—トムラウシ北沼—南沼(テント泊)
- 8月11日(月)● 南沼—トムラウシ山(ピストン)—前トム平—カイト井—トムラウシ温泉—新得(宿泊)
- 8月12日(月)● 新得—富良野—旭川—旭川空港—名古屋空港—刈谷(下山)

※途中下山について

- ・途中下山の理由は、①連日の天候不順、②残りの行程も長く(8時間以上)厳しい、③疲労蓄積とメンバーの一部に靴擦れが生じた等による。

◆総評

- ・全般雨にたたられ、雄大な景色、山頂からの大展望も一度も見ることもなかったが、豊富な高山植物、奇岩帯、湿原地、火山帯、シマリス、キタキツネなど北海道の自然に触れることができ、充分楽しめた。
- ・連日8時間以上の行動計画となっており、メンバーの実力からみてももっと余裕のある計画をたてるべきであった。4時間くらいの日をもうけるなどしてクッションをとっておくと行動しやすい。
- ・やり残した十勝岳や利尻岳ももちろんだが、今回の行程もまたの機会に是非行きたい。

◆装備

- ・現地(旭川市内)にてホワイトガソリンを6 l 購入。(飛行機内持ち込み禁止のため)使用量2 l で残りは民宿にて処分を依頼。
- ・医薬品は、靴擦れの応急処置のためカットバン1箱を使い切る。

◆食糧

- ・朝、夕の米の量は、メンバーに合わせた適量を用意するのが困難で、いつも苦勞する。
- ・下界より各自が行動水+予備水2 l を持って上がり、2日目以降の行動水として使用。実際には、今年は天候が悪く雪渓が多く残っていたため、山中にも水は豊富であった。
- ・3日目の行動食は弁当であったが、米1合/人では足りない気がした。

◆会計

・交通費(往復航空料金+JR鉄道+バス+ロープウェイ+リフト)...	4 4 4 0 4 5 円
・食糧費	1 9 1 5 2 円
・燃料費(旭川市内にてホワイトガソリン6 l を購入)	5 6 7 0 円
・宿泊費(層雲峡、新得の民宿。1650円+5500円。)	4 2 9 0 0 円
合計	5 1 1 7 6 7 円
1人あたり	8 5 2 9 5 円

航空チケットは旅行代理店を通してチケットのみを購入。ホテルとセットであればツアーとして購入したほうが安い場合もある。時期によっても料金は異なり今回は一番高い時期であった。早割や格安チケットなど安く行く方法を研究するといいい。

合宿にあたり、激励や差し入れをいただきましたことを深く感謝いたします。
ありがとうございました。

97年度 夏山合宿報告書		山行日 '97年 8月 9日 (土) 天候 (雨時々曇)	記録者 津田
ルート図		コースタイム	↓ 6:40 リフト終点(7合目)発 7:10 8合目一本 7:55 黒岳山頂 8:20 雲ノ平一本 (9:50 分岐) ↓ 10:03 北鎮岳山頂 10:16 分岐一本 (10:37 中岳) ↓ 11:14 間宮岳一本 12:08 旭岳山頂 ↓ 12:54 間宮岳一本 13:00 ↓ 13:40 北海岳山頂 ↓ 15:00 白雲岳 遊覧小屋 (5合目)着
2.5万分の1地図名 ()			

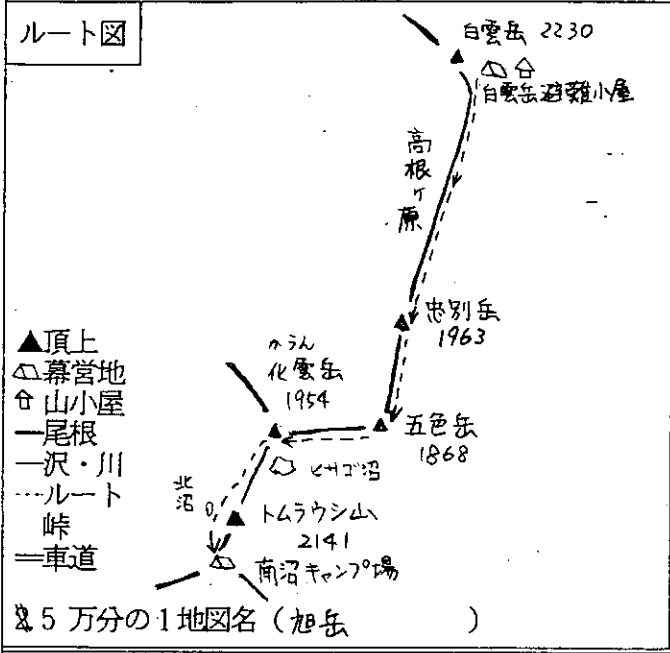
<山行報告>

昨夜の激しかった雨は、小雨に変わっていたが、初日の雨は、やはり気が重々。少しでも天気が回復することを期待し出発(5時)。リフトに乗りながら朝食(蕎麦)のビスケットで張り腹ごしらえ。リフトを降りると、いきなり急登が始まる。カッパの下はもう汗びっしょりで暑い。皆バツリていけるかなと案じつつも、一步一步足を運ぶ。息もゼーゼーと乱れかけた頃、8合目へ到着し、一本を取る。雨はパラパラと小降り。私は、カッパを脱ぐことにした。脱いだら、涼く感じ、体も少し元気になってきた。急登がなだらかになって来たことに思いつき、黒岳山頂へ到着。雨がやみ、見晴らしも結構で、うれいなる。1枚スクリーン、このまま天気が回復してくれと祈りつつ出発。ぼてんと登り降りなく、北鎮岳を目指して、快調に道すがら向いて行く感じがしない。北海道の山は遠く、感じながら、雲の平を歩く。道端に高山植物が、いびつに咲いている。雨は降、たり秋だりしていたが、とうとう(か)降りた。頂上直下の分岐で、カッパを降り、空身で北鎮岳山頂へ。頂上では何も見えない。早くに降りる旭岳を目指して、せんで人道を、間宮岳の奇峰でカッパを降り、空身で旭岳へ。せつ、かえりださず、一筆に降り、がれ場の急登。苦しくて、ハハハと言いつつ、山頂へ着いても何も見えない。ソコジスと回し飲み、写真を撮り、早く降りた。後はテト場目指して進む

<報告者所見> だが、体を休めたいと急ぎ急いで、白雲岳直下のテト場に到着し、本日の行動終了(3時)。雨にたたりかた一日であった。

天気さえよければ、おもしろい山と思うが、楽しみは半減という感じだった。黒岳の頂上では雨もやんでおり、一見晴らしを楽しめた。北海道の山(目指す山がなかなか近づかない)を少しは理解出来たかな?

97年度 夏山合宿報告書 山行日 97年8月10日(日) 天候(●●) 記録者 宮島

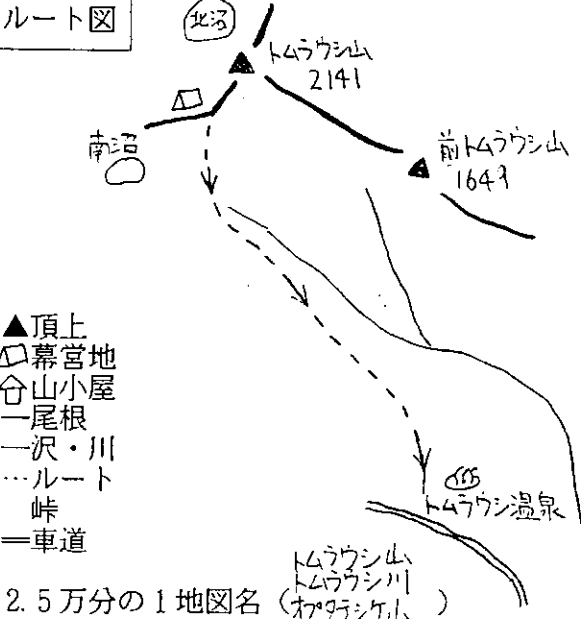


コースタイム	
4:00 起床	↓
6:20 テンバ出発	15:05)
↓	15:15)
8:17)	↓
8:35)	16:08) 北沼
↓	16:18)
9:55) 忠別岳	↓
10:10)	16:46 南沼キャンプ場着
↓	
11:40) 五色岳	
11:57)	
↓	
13:08) 化雲岳	
13:35)	

<山行報告> 起床時刻前に何度か目が覚めるが強い雨音が聞こえる。今日も雨かたがかりして目を閉じる。4時起床 朝食のお茶漬けをたらいがけ、テント内である程度パッキングを行なう。テント撤収時には雨が小降りとなり助かる。他の10-ティがまだ動きそうにない中、6:20 次の目的地を目指し出発する。アップダウンはほとんどないただ、ひろい高根ヶ原をひたすら歩く。ルートはときには水路と化し、登山靴をぬらさないよう気をつける。湿原地もあるが角材を組みだ通路を渡る。忠別岳手前になると津田さんと私が疲れや足の痛みなどでおいてきぼりにする。忠別岳から五色岳へ1ピッチで歩いたが、ハイマツを抜く人がたくさん休憩していた所が五色岳だった。またハイマツの中へはいっていき、化雲平へ向かうが雨のためルートは小川のようになっており、ルート脇のハイマツをみきりて歩いていく。当初の計画にはなかったが化雲岳へ寄る。ここでは雨は一時的にやみ、太陽が顔をのぞかせるかと思えたが厚い雲の中に消えていった。テンバを出発してから7時間余りが経過し、トムラウシの登りがまだ残っている。あとの時間はかかるので、ヒサゴ沼へ行くかルート変更の検討を行った。一旦はヒサゴ沼へルート変更することになったが急坂トムラウシを迂回して南沼キャンプ場へ行くことになった。10-ティを2つに分け、築瀬君、高橋君、福井さんの3名に先行してもらい他の3名はあとから行くことにした。化雲岳～北沼のルートは岩の玉を歩く

<報告者所見> ことが多くなり、歩きづらい。日本庭園といわれるところを通ったが楽しむゆとりがない。16:46 ほど南沼キャンプ場へ着く。水は豊富に流れており、30-ティ程いた。

<所見> 登山靴の中はぬれてしまい、足はふやけて靴ずれして痛かった。天候不順で景色は全然 楽しむ 残念であった。再度北海道に行かぬかと思えた。

'97年度 夏山合宿報告書	山行日 97年 8月 11日 (月) 天候 (☁)	記録者 築瀬																						
<div data-bbox="215 324 343 369">ルート図</div>  <div data-bbox="215 638 343 884"> <p>▲ 頂上 □ 幕营地 △ 山小屋 — 尾根 — 沢・川 --- ルート ≡ 峠 = 車道</p> </div> <div data-bbox="215 907 670 952"> <p>2.5万分の1地図名 (オオタテシク山)</p> </div>	<div data-bbox="885 324 1077 369">コースタイム</div> <table border="0"> <tr> <td>4:00 起床</td> <td>12:00 林道分岐</td> </tr> <tr> <td>5:50 南沼キャンプ指定地</td> <td>12:15)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12:20)</td> </tr> <tr> <td>6:10) トムラウシ山頂</td> <td>13:35 トムラウシ温泉</td> </tr> <tr> <td>6:20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6:30) 南沼キャンプ指定地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6:50)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7:50) 前トムラウシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8:05)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10:45) カムイ天上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11:00) 手前</td> <td></td> </tr> </table>		4:00 起床	12:00 林道分岐	5:50 南沼キャンプ指定地	12:15)		12:20)	6:10) トムラウシ山頂	13:35 トムラウシ温泉	6:20)		6:30) 南沼キャンプ指定地		6:50)		7:50) 前トムラウシ		8:05)		10:45) カムイ天上		11:00) 手前	
4:00 起床	12:00 林道分岐																							
5:50 南沼キャンプ指定地	12:15)																							
	12:20)																							
6:10) トムラウシ山頂	13:35 トムラウシ温泉																							
6:20)																								
6:30) 南沼キャンプ指定地																								
6:50)																								
7:50) 前トムラウシ																								
8:05)																								
10:45) カムイ天上																								
11:00) 手前																								
<p>朝、トムラウシ山を見ることができた。テント場から見上げる山頂は、巨岩が絶妙なバランスで積み重なったきれいな山であった。荷物を残して山頂へ向かう。雲の間から一瞬青空が見えるがすぐにキリ雨となる。山頂からは遠くにオオタテシク山の頭が見えた。近くにはシマリスの姿を見ることができた。</p> <p>テント場からキリの中に向かって下山をはじめ。少し下った所がトムラウシ公園と呼ばれる所で奇岩と沼と高山植物が集った景観が広がっていた。ここから先の登山道は沢づたいの樹林帯となり、このところの長雨でぬかるんでいる所が多く歩きにくい。水たまりをよけて歩くが注意しないと、くるぶしまでドロに埋まってしまう。登ってくる人とは10人ほどすれちがうがトムラウシ日帰りヒストンの人が軽装の人もある。たんたんとした下りを下りきりトムラウシ温泉に到着した。新表された東大雪荘の温泉につかり、合宿は終了となった。</p>																								
<div data-bbox="215 1870 422 1915"><報告者所見></div> <p>これほど天候の悪く山行ははじめてだった。是非もう一度行きたい。</p>																								